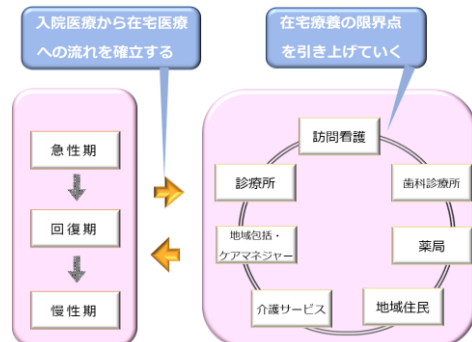




広島市北部在宅医療・介護連携支援センターの自己紹介

広島市北部在宅医療・介護連携支援センターは、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、入院医療から在宅医療への流れを確立するとともに、在宅療養の限界点を引き上げていくことを目的とし、地域での日常生活を支える医療（在宅医療）、介護、保健・予防の連携を強化し、有機的に結びつけるための地域包括ケアシステムを支える拠点として、一般社団法人安佐医師会が広島市から委託を受けて令和2年4月に開設しました。



機能1 在宅療養に向けた移行支援

【退院調整に対する個別支援など】

在宅医療を開始するため、退院調整が必要となる入院患者について、関係機関と連携し、情報提供・連絡調整などの支援を行ないます。※退院調整の実施主体は医療機関であることを前提に、その調整作業に対する支援を行います。

機能2 在宅療養を支える多機関・多職種連携のネットワーク化

【資源情報の集約・充実や仕組み・体制づくりなど】

令和3年度には安佐地区医療介護連携マニュアル（平成30年9月発行（更新））の充実等に取り組めます。

機能3 在宅療養を支える人材の育成

【医療・介護関係者を対象とした研修会の企画・実施など】

機能4 介護予防等の質向上に向けた支援

【医療依存度の高いケースに対するケアマネジメントの支援など】

令和3年度は医療依存度の高いケースの対応において参考となる情報をとりまとめて皆様を提供することに取り組めます。

よろしくお願いします

機能5 認知症初期集中支援チーム

裏面の「あさオレンジだより」をご覧ください。



令和2年度の主な活動報告

安佐地区の医療介護関係者による多職種会議を開催しました

安佐地区の医療介護関係者で構成する多職種会議体「広島市北部在宅医療・介護連携推進委員会」を新たに設置し、コロナ禍における医療介護連携における課題の解決に向けた取組を検討しました。感染対策によりこれまでのように対面での連携が難しかったことからICTの活用を促進するための手引き等の作成など以下のことに取り組みました。

〔取組内容〕

- ・新型コロナウイルス対策における実態調査の実施
- ・Zoom利用方法の手引き作成
- ・個人情報に配慮して実施するオンライン会議のポイント作成
- ・新型コロナウイルス感染者等の発生時対応フロー図の作成
- ・新型コロナウイルスに関する各種情報の集約・情報提供

※センターのホームページに掲載していますので是非ご覧ください。



広島市北部在宅医療・介護連支援センター

検索

- ▶ センターのホームページを開かれたら、ページ下部にある「[新型コロナウイルス感染症に関する取組](#)」をクリックしてください。

オンライン研修会を開催しました

令和2年12月3日（木）19時から研修会をオンラインで開催しました。

特別講演「新型コロナウイルス感染対策」

講師：広島大学病院 感染症科 大毛宏喜 先生

大毛先生のご講演は、新型コロナウイルスに関する基本的な知識だけでなく、事前に参加者の方々からいただきました医療介護関係者の方々が普段から不安に感じていることに対して、非常に分かりやすくご説明いただきました。

207の機関から申込をいただき、当日の視聴回数は277回となりました。

令和3年度も研修会の開催を計画していますので、是非ご参加いただければ幸いです。

裏面へ→



「あさオレンジだより」

 2021年春号

安佐南区・安佐北区では広島市から委託を受けて、安佐医師会に、認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）が配置されています。チームの活動は安佐南区は2年目、安佐北区は3年目を迎えました。今回のたよりでは、新年度のチーム員の体制と、安佐南区、安佐北区のチーム長の挨拶を紹介させていただきます。これからも地域の関係機関の皆様と連携しながら、認知症の方も住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らしていけるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

安佐地区オレンジ支援チーム員のご紹介

【安佐南区】チーム員医師

頼島 敬 医師（よりしま内科外科医院）【チーム長】
村田 裕彦 医師（広島共立病院）
地主 和人 医師（地主クリニック）
箱守 英雄 医師（安佐病院）

【安佐北区】チーム員医師

山下 拓史 医師（安佐市民病院）【チーム長】
高橋 祥一 医師（高陽ニュータウン病院）
増岡 俊治 医師（沖野医院）
真島 宏海 医師（児玉病院）

チーム員専門職

中原 直子（精神保健福祉士・社会福祉士）【安佐南区主担当】
倉本 佳恵美（社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員）【安佐北区主担当】
徳満 誠司（社会福祉士・介護福祉士・主任介護支援専門員）

チーム長からのメッセージ

安佐南区チーム長 頼島 敬 医師

安佐南区でオレンジ支援チームに携わって2年になります。自院でも日頃から、認知症関連の患者さんやご家族と接しておりますが、チームの対象には孤立したご家族、一人暮らしでご近所と関係がうまくいっていない方々など寄り添い存在の多いのが特徴です。火急のサポートを必要とします。しかしこちらが心配するほどはご本人が困っていないケースもあり、調整に難渋することしばしばです。最終的にはチーム所属の先生の精神科病院にお願いするケースも希ではなく、なかなか一筋縄ではいきません。チーム一丸となってスムーズに支援が卒業できるよう努めていきたいと存じます。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

安佐北区チーム長 山下 拓史 医師

平素より安佐北区のオレンジ支援チームの活動に多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。様々なご相談をいただいておりますが、認知症の方と家族を支援する上で大切にしていることは、認知症の方を一人の“人”として尊重し、その人の立場に立つて行うパーソン・センタード・ケアです。家族はずいぶん困っておられますが、無理矢理に医療や介護に結び付けても長続きしないので、認知症の方の思いが叶えられる良い解決策がないかチーム全員で議論しています。認知症は医療と介護と福祉の連携が欠かせない疾患であり、これからお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



発行：一般社団法人安佐医師会 広島市北部在宅医療・介護連携支援センター

認知症初期集中支援チーム（オレンジ支援チーム）

広島市安佐南区八木5丁目35番2号 安佐医師会館内

TEL：082-555-5957 FAX：082-555-2708

